

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

磯子駅周辺は、公共施設や医療機関、スーパーなどの商業施設があり便利です。しかし、中高層住宅等では高齢者の孤立が目立ち、医療・食事・生活環境・経済的困難等の問題が多くみられます。
 駅から離れた丘陵地は、景観が良く、静かな住宅地が広がっています。しかし、公共交通の便が悪く、医療機関や商業施設が不足しているため、外出や買い物等の生活課題があります。現在、コンビニの移動販売、スーパーの買物バス運行サービスが始まっています。
 子どもに関しては、「子ども食堂」や区の事業である寄り添い型「学習支援事業」を通じ、貧困・孤食などの問題が明らかになっているため、ボランティア中心で運営している事業を支援します。
 コロナ禍での外出自粛や集う場が減ったことにより、高齢者の孤立・閉じこもり、身体機能や認知機能の低下、意欲低下、経済的な問題等が見られており、それに伴う相談も増加しています。
 コロナ禍で地域の繋がりが薄れている中で、更なる地域活動を推進するために、地域での見守りや介護予防、認知症予防、居場所づくりに努めていきます。そのための担い手支援も行います。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域のボランティアによる助けあいグループ「ちょこっとボランティアえがお」の運営を支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	磯子浜東町内会、磯子浜西町内会、磯子山手町内会、ブリリア自治会での介護予防教室の開催。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	小中学生の放課後の居場所としての「子ども食堂」や「学習の場」の運営を支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「いきいきライフ講座」の実施。 参加者に対して、ボランティア活動の周知・声かけを行う。担い手支援交流会の実施。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者虐待について、早期発見・適切な対応ができるよう、関係機関と連携を図る。 タイムリーに関係機関と連携しながら、支援方針の検討・情報共有を行い、支援体制の強化に努める。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度も感染防止に努めながらできる限りの事業を実施しました。
 介護予防教室については、第7波の影響を受け、中止、延期、場所の変更などありましたが、開催時は多くの方が参加されました。また、昨年度自主化したグループの継続支援をしつつ、新しく自主化できるグループの後方支援を行い、自主化への方向が見えてきました。引き続き支援してまいります。
 『子育て支援』においては、小中学生を中心に放課後の居場所を主な目的とした学習支援活動がありますが、運営していく中で新たなニーズが見えてきたことで担い手の勉強会や新たな担い手募集などを行いました。また子ども食堂活動については、コロナ禍における活動の可能性を模索するなかで、テイクアウトで実施するなど継続できるよう支援してまいりました。
 『高齢者支援』の事業は、民生委員との連携が不可欠となりますので、民児協などに足を運び情報交換・共有の機会を設けるなど地域の方との協働の体制づくりに尽力してまいりました。また権利擁護等の講座を開催し高齢者やその支援者層への啓発に努めました。
 『地域支援』においては、昨年度に引き続き、助けあい支えあいの活動グループ「ちょこっとボランティアえがお」への依頼が、民生委員をはじめ、ケアマネジャーからも多く寄せられました。ケアプラザは事務局として、ボランティアの方が安心して活動できるように依頼者との円滑な橋渡しに努めてまいりました。また、地域サロンに参加して、介護保険やACPなどについて出前講座を実施しました。
 今年度は「第4期磯子区地域福祉保健計画」の2年目として、磯子地区地域福祉保健計画推進会議を開催しました。地域の福祉保健に関する事業所にも参加していただき、お互いを知るきっかけづくりとなりました。

区からのコメント

コロナ禍第7波の影響を受けつつも、工夫をしながら各種事業を進めて頂きました。介護予防教室に関し、自主化したグループにも支援を継続するなど丁寧な関わりをしていただき、子育て支援においてもニーズに合わせた事業の展開がなされていました。地区別計画の推進について、まずは推進委員の皆さんに知っていただくことを目標にした推進会議の開催により関係機関・団体との関係構築につながったと思います。次年度も住民主体の地域づくりの支援を区・区社協と連携しながら進めて頂ければと思います。

—昨年度に立ち上げた「ちょこっとボランティア「えがお」について、ケアマネジャーへの周知を続けることで、依頼件数も増加しています。高齢者ご本人が安心して生活するためには、あらゆるサービス・社会資源の活用が必要になります。ケアマネジャーがインフォーマルサービスも含めてケアマネジメントできるよう、引き続き支援をお願いします。